

未来をつくる「対話」の場を – 主権者教育への第一歩

山本珠緒

松江北高 2025年卒、76期
早稲田大学政治経済学部
(2025年11月近況報告)



東京双松会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。松江北高校76期卒業の山本珠緒と申します。現在、早稲田大学政治経済学部の1年生として、政治と経済の複合的な分野を学んでおります。

この度は、伝統ある東京双松会の会報に寄稿の機会を賜り、心より御礼申し上げます。今年の4月に上京し、東京の刺激的な環境や多様な人々との出会いに多くのことを感じながらも、故郷・松江の美しい街並みを懐かしく思い出しております。そのような大学生活の中、7月に同じサークルに所属する友人から、あるNPO法人の立ち上げに誘われたことが、私にとって大きな転機となりました。

私たちが取り組むのは「主権者教育」です。「主権者教育」と聞くと、少し堅苦しく感じられる方もいらっしゃるかもしれません。私たちの根本にある思いは、「政治への敷居を下げ、より身近なものにしたい」という純粋なものです。そのために、特定の思想に偏ることのない「公立性」「中立性」「透明性」を活動の柱として重んじています。

目まぐるしく変動する現代社会において、政治や社会情勢に無関心でいたり、確固たる自分の意見を持てずに他者の意見に流されてしまったりするケースは少なくないと感じています。私自身も、大学で学ぶまで政治を「自分事」として捉えていなかった一人です。この現状を少しでも改善したいという思いから、主に中高生や地域の皆様を対象とした出張授業、ワークショップ、さらには国会議員や地方議員の方々との対話の場を企画・開催していきたいと考えています。

現在は学生団体として準備を進めており、本年12月までのNPO法人化を目指に活動しています。大学一年生で、まだまだ未熟な点ばかりではございますが、故郷の先輩方である皆様に、私たちがこのような活動に挑戦していることを知っていただけますと幸いです。

活動の詳細は、以下のホームページやInstagramにて発信しております。

HP: <https://www.parlerterrace.org/>

Instagram: https://www.instagram.com/parlerterrace?igsh=MXFhcjV1bWpwe mZIMg%3D%3D&utm_source=qr

末筆ではございますが、双松会の一層のご発展と、会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



次回ミーティングまでの各々の
to do を話し合っている様子